

安全データシート

SDS No. : 34004J-COM

作成・改訂 : 2017/06/12

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称 : ジアセチル誘導体化試薬キット「Shinwa DS-DA (Diacetyl)」
 Reagent-A (内部標準液)

会社名 : 信和化工株式会社

住所 : 京都市伏見区景勝町 50 番地 2

担当部門 : COM グループ

電話番号 : 075-621-2360

FAX 番号 : 075-602-2660

緊急連絡電話番号 : 同上

2. 危険有害性の要約

物理化学的危険性 :

引火性液体

区分 2

健康に対する有害性 :

目に対する重篤な損傷・眼刺激性

区分 2B

発がん性

区分 1A

生殖毒性

区分 1A

特定標的臓器毒性 (単回暴露)

区分 3 (気道刺激性、麻酔作用)

特定標的臓器毒性 (反復暴露)

区分 1 (肝臓)

特定標的臓器毒性 (反復暴露)

区分 2 (中枢神経系)

環境に対する有害性 :

該当区分なし

ラベル要素 :

絵表示またはシンボル



注意喚起語

危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気

強い眼刺激

発がんのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

眠気やめまいのおそれ

長期又は反復ばく露による肝臓の障害

長期又は反復ばく露による中枢神経系の

障害のおそれ

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名	含有量	化学式	CAS No.	官報公示整理番号
ナフタレン	0.01%	C ₁₀ H ₈	91-20-3	4-311
エタノール	99.99%	C ₂ H ₅ OH	64-17-5	2-202

4. 応急処置

- 吸引した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合： 直ちに汚染された衣類をすべて取り除くこと。
皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
- 目に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗淨を続けること。
- 飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。異状があれば医師の手当を受けること。

5. 火災時の処置

- 消火剤： 水噴霧、対アルコール性泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤： 棒状放水
- 特定の危険有害性： 加熱により容器が爆発するおそれがある。
極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。
消火後再び発火するおそれがある。
火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。
- 特定の消火方法： 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
容器が熱に晒されているときは、移さない。
安全に対処できるならば着火源を除去すること。
- 消火を行う者の保護： 適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏洩時の処置

- 人体に対する注意事項： 全ての着火源を取り除く。
屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。
風上から作業して、風下の人を退避させる。
- 環境に対する注意事項： 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。
- 除去方法： 危険でなければ漏れを止める。
乾燥砂又は土等で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策： 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。
漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに蒸気を発生させない。
- 安全取扱い注意事項： 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。
取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
適切な保護具を着用する。
屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。

保管

- 適切な保管条件： 直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。
安全な容器包装材料： ガラス

8. 暴露防止処置

- 設備対策： 蒸気またはミストが発生する場合は、発生源を密閉し、局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに、目の洗浄および身体洗浄のための設備を設置し、その場所を表示する。

管理濃度

- 作業環境評価基準： 設定されていない
許容濃度： OSHA PEL： 設定されていない
ACGIH TLV(s)： 1000 ppm
日本産業衛生学会： 設定されていない

- 保護具： 保護マスク
手の保護具： 保護手袋
目の保護具： 保護眼鏡、ゴーグル型または全面保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具： 長袖作業衣、保護長靴

9. 物理的及び化学的性質

- | | |
|------------------------------|------------|
| 形状： 液体 | 沸点： データなし |
| 色： 無色透明 | 融点： データなし |
| 臭い： アルコール臭 | 引火点： データなし |
| pH： データなし | 発火点： データなし |
| 比重： データなし | 蒸気圧： データなし |
| 爆発限界： データなし | |
| 溶媒に対する溶解性： 水、アルコール、アセトンに易溶 | |
| オクタノール／水分配係数 log Po/w： データなし | |

10. 安全性及び反応性

- 安定性： 光により変質する恐れがある
反応性： 強酸化剤と接触すると発火の危険性がある
危険有害反応可能性： 次亜塩素酸カルシウム、酸化銀、アンモニアと徐々に反応し、火災や爆発の危険をもたらす。

硝酸、硝酸銀。硝酸第二水銀、過塩素酸マグネシウムなどの酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。

避けるべき条件 : 直射日光、高温、熱、火花

危険有害な分解性生物 : 一酸化炭素、二酸化炭素

11. 有害性情報

本製品に関する情報はないが、エタノールに関する情報を記載する。

急性毒性 : 経口 ラット LD50: 6200 mg/kg (PATTY 6th, 2012)
 経皮 ウサギ LDLo: 20000 mg/kgg (SIDS, 2005)
 吸入 ラット LC50: 63000 ppmV (DFGOT vol.12, 1999)

皮膚腐食性・刺激性 : 皮膚刺激 ウサギ 500mg/24H 中程度 (SIDS, 2005)

眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 目刺激 ウサギ 100mg/24H 中程度 (SIDS, 2005)

発がん性 : グループ 1 (IARC 2010)

生殖毒性 : グループ 1 (PATTY 6th, 2012)

特定標的臓器毒性、単回暴露 : 眼を刺激する。高濃度の蒸気を吸入すると、眼、気道の刺激を引き起こすことがある。中枢神経系に影響を与えることがある。(PATTY 6th, 2012; SIDS, 2005)

特定標的臓器毒性、反復暴露 : 長期の暴露により肝臓に悪影響を及ぼす。上気道、中枢神経系に影響を与え、刺激、頭痛、疲労感、集中力欠如を生じることがある。(DFGOT vol.12, 1999; HSDB, 2013)

12. 環境影響情報

本製品に関する情報はないが、エタノールに関する情報を記載する。

生態毒性（急性） : 藻類（クロレラ） EC50: 1000 mg/L/96hr (SIDS, 2005)
 生態毒性（長期） : 甲殻類（ニセネコゼミジンコ属） NOEC: 9.6 mg/L/10d (SIDS, 2005)
 残留性／分解性 : 急速分解性

13. 廃棄上の注意

内容物、容器を地方または国の規則に従って廃棄すること。

中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

14. 輸送上の注意

国連分類 : クラス 3

国連番号 : 1170（エタノール又はエタノール溶液）

容器等級 : II

注意事項 : 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にこなう。

15. 適用法令

消防法 : 第 4 類引火性液体、アルコール類

毒物及び劇物取締法 : 非該当

労働安全衛生法	:	危険物・引火性の物 名称等を通知すべき危険物及び有害物
船舶安全法(危規則)	:	引火性液体類
航空法	:	引火性液体
大気汚染防止法	:	揮発性有機化合物
海洋汚染防止法	:	有害液体物質
化学物質管理促進法 (PRTR 法)	:	非該当

16. その他の情報

引用文献： 厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/>
製品評価技術基盤機構 <http://www.nite.go.jp/chem/index.html>
化学物質規制・管理実務便覧
原材料メーカーの製品安全データシート
IATA 航空危険物規則書 第 49 版邦訳

本製品安全衛生データシートは、現時点において得られた情報をもとに作成していますが、かならずしも万全なものではありません。取扱いには十分注意して下さい。